

明治大学黒耀石研究センターCOLS構成員による科研費採択状況【2023年度】

代表/分担	科研No.	種別	COLSメンバー氏名 (研究者番号)	代表/分担(代表者) ポルト体:COLS構成員	年度	2023年度配分額 (下記は全体経費)	課題名 (キーワード)
代表	22H00724	基盤研究 (B)	栗島 義明(代) Kurishima Yoshiaki (60445864) 谷畑 美帆(分) Tanihata Miho (10440174)	代表者:栗島義明 /分担者: 谷畑美帆(明治大学COLS)・水 江和同(同志社大学)・米田稷 (東京大学)	2022- 2025	2023年度: 3,380千円(直 接経費: 2,600千円、間接 経費: 780千円)	縄文時代のヒスイ・コハクを用いた装身具の総合的 研究 (縄文時代 / ヒスイ / コハク / 装身具 / 交易)
代表	21K00960	基盤研究 (C)	堤 隆 Tsutsumi Takashi (70593953)	代表者:堤隆 /分担者:なし	2021- 2025	2023年度: 780千円(直接 経費: 600千円、間接経 費: 180千円)	浅間山南麓の火山災害考古学序論 (浅間山南麓 / 噴火年代 / 火山災害遺跡)
代表	21H00599	基盤研究 (B)	池谷 信之(代) Ikeya Nobuyuki (80596106) 中村 由克(分) NAKAMURA Yoshikatsu (10737745) 堤 隆(分) Tsutsumi Takashi (70593953)	代表者:池谷信之 /分担者: 中村由克(明治大学COLS)・保坂 康夫(身延山大学)・金井拓人 (帝京大学)・堤隆(明治大学 COLS)・隅田祥光(長崎大学)	2021- 2024	2023年度: 2,990千円(直 接経費: 2,300千円、間接 経費: 690千円)	蛍光X線分析装置を中心とした黒耀石原産地推定 法の改良・体系化とその可変的適用 (原産地推定法の可変的適用 / EDXRF / p-XRF / 晶子形態法 / 構造変動)
代表	21H00614	基盤研究 (B)	能城 修一(代) Noshiro Shuichi (30343792) 佐々木 由香(分) Sasaki Yuka (70642057)	代表者:能城修一 /分担者: 工藤雄一郎(学習院女子大学)・ 小林和貴(東北大学)・佐々木由 香(金沢大学・明治大学COLS)	2021- 2024	2023年度: 4,030千円(直 接経費: 3,100千円、間接 経費: 930千円)	縄文時代の森林資源の管理と利用に含まれる多様 な植物の解明 (植物資源 / 管理 / 利用 / 縄文時代 / 多様性)
代表	21H00519	基盤研究 (B)	佐々木 由香(代) Sasaki Yuka (70642057) 能城 修一(分) Noshiro Shuichi (30343792)	代表者:佐々木由香(明治大学 COLS・金沢大学) /分担者:山 本華(同志社大学)・鈴木三男 (東北大学)・能城修一(明治大 学COLS)	2021- 2024	2023年度: 4,420千円(直 接経費: 3,400千円、間接 経費: 1,020千円)	土器敷物圧痕の素材植物と編組技法から見た縄文 時代の技術知の解明 (編組製品 / 縄文時代 / 植物利用 / 技術知)
代表	21H00600	基盤研究 (B)	石川 日出志 Ishikawa Hideshi (40159702)	代表者:石川日出志 /分担 者:中村大介(埼玉大学)・橋本 裕行(檀考研)・山本孝文(日本 大学)・石黒ひさ子(明治大学古 代研)・高橋浩二(富山大学)・豊 島直博(奈良大学)・田村朋美 (奈文研)・谷澤亜里(奈文研)	2021- 2023	2023年度:4,810千円 (直接経費:3,700千円、 間接経費: 1,110千円)	璽印・ガラス・鉄器からみた西暦1～3世紀日本列 島・東アジアの広域交流の重層性 (広域交流 / 東アジア / 璽印 / ガラス / 鉄器)
代表	21K00959	基盤研究 (C)	谷畑 美帆 Tanihata Miho (10440174)	代表者:谷畑美帆 /分担者: 近藤修(東京大学)・竹中正巳 (鹿児島女子短期大学)	2021- 2023	2023年度: 1,300千円(直 接経費: 1,000千円、間接 経費: 300千円)	墓と被葬者から考察する中世社会 (中世 / 人骨 / 埋葬 / 古病理)
代表	20H05811	□ 学術変革 領域研究 (A)	佐々木 由香(代) Sasaki Yuka (70642057) 能城 修一(分) Noshiro Shuichi (30343792)	代表者:佐々木由香(COLS・金 沢大学) /分担者:吉富博之(愛 媛大学)・能城修一・伊藤美香 (昭和女子大学)・首藤剛(熊本 大学)・黒住耐二(千葉県立中央 博物館)	2020- 2024	2023年度: 10,010千円(直 接経費: 7,700千円、間接 経費: 2,310千円)	土器に残る動植物痕跡の形態学的研究 □土器を掘る:22世紀型考古資料学の構築と社会 実装をめざした技術開発型研究(代表者:小畑弘 己/熊本大学)の研究計画5部門の一つ □ (土器 / 縄文時代 / 動植物遺体 / 圧痕 / 形態学)
代表	19K01117	基盤研究 (C)	水沢 教子(代) Mizusawa Kyoko (10792799) 中村 由克(分) NAKAMURA Yoshikatsu (10737745)	代表者:水沢教子 /分担:中村 由克(明治大学COLS)	2019- 2023	2023年度: 260千円(直 接経費: 200千円、間接 経費: 60千円)	胎土分析から復元する縄文時代中期の土器づくりシ ステム (土器づくりシステム / 在地胎土 / 砂 / 粘土 / 集 中製作)
分担	23H00010	基盤研究 (A)	佐々木 由香 Sasaki Yuka (70642057)	代表者:菊地芳朗(福島大学) / 分担:藤澤敦(東北大学)・高瀬 克範(北海道大学)・太田圭(東京 大学)・鈴木琢也(北海道博物 館)・福永伸哉(大阪大学)・村上 由美子(京都大学)・佐々木由香 (明治大学COLS・金沢大学)・日 杵勲(札幌学院大学)	2023- 2027	2023年度: 9,490千円(直 接経費: 7,300千円、間接 経費: 2,190千円)	北からの視点・考古化学分析・広域比較に基づく日 本古墳築造の総合的研究 (日本列島北部 / 古墳文化 / 農耕展開 / 考古化学 分析 / 広域比較)
分担	23H00691	基盤研究 (B)	能城 修一 Noshiro Shuichi (30343792)	代表者:根岸洋(東京大学) /分 担:福田正宏(東京大学)・能城 修一(明治大学COLS)・夏木大 吾(東京大学)	2023- 2026	2023年度: 4,940千円(直 接経費: 3,800千円、間接 経費: 1,140千円)	縄文時代前半気における火山災害・古環境変動へ の地域適応史の解明 (土器出現期 / 十和田火山 / 神子柴・長者久保石 器群 / 古環境変動 / 地域的適応)

分担	23K00942	基盤研究 (C)	堤 隆 Tsutsumi Takashi (70593953)	代表者: 中沢祐一(北海道大学) / 分担: 堤隆(明治大学COLS)	2023-2025	2023年度: 2,730千円 (直接経費: 2,100千円、間接経費: 630千円)	日本列島亜寒帯域における黒曜石水和層法のローカルモデルの構築 (黒曜石 / 水和層 / 年代測定 / 亜寒帯 / 遺跡)
分担	22H00020	基盤研究 (A)	池谷 信之 Ikeya Nobuyuki (80596106)	代表者: 高橋龍三郎(早稲田大学) / 分担者: 植月学(帝京大学)・米田稔(東京大学)・近藤修(東京大学)・藤田尚(同志社大学)・太田博樹(東京大学)・池谷信之(明治大学COLS)	2022-2025	2023年度: 8,320千円 (直接経費: 6,420千円、間接経費: 1,920千円)	縄文時代中期から後・晩期への社会変動に関する考古学とDNA分析の共同研究 (氏族制社会 / ゲノム解析 / 同位体分析 / 縄文人骨 / 自然科学分析)
分担	22H00740	基盤研究 (B)	池谷 信之 Ikeya Nobuyuki (80596106) 島田 和高 Shimada Kazutaka (70398907)	代表者: 隅田祥光(長崎大学) / 分担者: 足立達朗(九州大学)・角縁進(佐賀大学)・島田和高(明治大学COLS)・池谷信之(明治大学COLS)	2022-2025	2023年度: 3,380千円 (直接経費: 2,600千円、間接経費: 780千円)	国際的黒曜石研究拠点(ハブ)の構築: 黒曜石原産地判別法の国際標準の導入と新展開 (黒曜石 / 蛍光X線分析 / 原産地判別法)
分担	22H00619	基盤研究 (B)	能城 修一 Noshiro Shuichi (30343792)	代表者: 岩佐光晴(成城大学) / 分担: 小澤正人(成城大学)・能城修一(明治大学COLS)・安部久(森林総合研究所)・西木政統(東京国立博物館)	2022-2025	2023年度: 4,160千円 (直接経費: 3,200千円、間接経費: 960千円)	東アジア及び東南アジアにおける木彫像の樹種と用材観に関する調査研究 (クスノキ / 樟 / 楠 / 木彫像 / 船)
分担	22K18491	挑戦的研究(萌芽)	能城 修一 Noshiro Shuichi (30343792)	代表者: 小倉慈司(国立歴史民俗博物館) / 分担: 能城修一(明治大学COLS)・本多貴之(明治大学)・樹田奈津子(東京大学)	2022-2024	2023年度: 2,210千円 (直接経費: 1,700千円、間接経費: 510千円)	忘れられた東アジアの古代塗料「金漆」の復元研究 (金漆 / 樹脂塗料 / 古代技術 / カクレミノ / 対馬)
分担	22K18494	挑戦的研究(萌芽)	能城 修一 Noshiro Shuichi (30343792)	代表者: 佐藤由似(奈文研) / 分担: 神谷嘉美(金沢大学)・能城修一(明治大学COLS)・村上夏希(奈良文研)	2022-2024	2023年度: 2,340千円 (直接経費: 1,800千円、間接経費: 540千円)	出土カンボジア漆分析に関する学際的研究 (カンボジア漆 / 考古学 / 漆化学 / 植生史学)
分担	20H05809	□ 学術変革 領域研究 (A)	佐々木 由香 Sasaki Yuka (70642057)	代表者: 小畑弘己(熊本大学) / 分担者: 宇田津徹朗(宮崎大学)・國木田大(北海道大学)・阿部昭典(千葉大学)・宮田佳樹(東京大学)・佐々木由香(明治大学COLS)・金沢大学)・西田泰民(新潟県立歴史博物館)・小林謙一(中央大学)	2020-2024	2023年度: 20,020千円 (直接経費: 15,400千円、間接経費: 4,620千円)	土器を掘る: 22世紀型考古資料学の構築と社会実装をめざした技術開発型研究: 総括班 (研究推進 / 研究調整機能 / 研究マネジメント / 社会還元)
分担	20H05820	□ 学術変革 領域研究 (A)	遠藤 英子 Endo Eiko (60766947)	代表者: 庄田慎矢(奈文研) / 分担: 西内巧(金沢大学)・熊谷真彦(農業・食品産業技術総合研究機構)・遠藤英子(明治大学COLS)・竹井恵美子(大阪学院大学)	2020-2024	2023年度: 18,460千円 (直接経費: 14,200千円、間接経費: 4,260千円)	植物考古学から探るイネ、雑穀、ムギ食文化の交流と変容 (「中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ」(代表者: 中村慎一 / 金沢大学)の研究計画7部門の一つ) (ムギ / アワ・キビ / 脂質 / メタボロミクス / ゲノミクス)
分担	20H00037	基盤研究 (A)	能城 修一 Noshiro Shuichi (30343792)	代表者: 小林公治(東文研) / 分担: 吉田邦夫(東京大学)・能城修一(明治大学COLS)・鳥越俊行(奈良国立博物館)・本多貴之(明治大学)・倉島玲央(東文研)・猪熊兼樹(東京国立博物館)・末兼俊彦(東京国立博物館)・神谷嘉美(金沢大学)	2020-2024	2023年度: 8,060千円 (直接経費: 6,200千円、間接経費: 1,860千円)	アジア螺鈿文化交流史の構築—物質文化史の視点から (螺鈿史 / 物質文化史 / アジア / 文化交流史 / 貝・漆)
分担	20H00024	基盤研究 (A)	栗島 義明 Kurishima Yoshiaki (60445864) 佐々木 由香 Sasaki Yuka (70642057)	代表者: 米田稔(東京大学) / 分担: 阿部芳郎(明治大学)・栗島義明(明治大学COLS)・宮田佳樹(東京大学)・渋谷綾子(東京大学)・佐々木由香(明治大学COLS)・金沢大学)	2020-2023	2023年: 9,750千円 (直接経費: 8,600千円、間接経費: 2,250千円)	初期の縄文土器の機能に関する総合的研究 (土器の起源 / 縄文人 / 更新世・完新世移行期 / 人類紀 / 狩猟採集民)
分担	20H01344	基盤研究 (B)	能城 修一 Noshiro Shuichi (30343792)	代表者: 吉田邦夫(東京大学) / 分担者: 能城修一(明治大学COLS)・卜部厚志(新潟大学)・植月学(帝京大学)・阿部昭典(千葉大学)・宮尾亨(新潟県立歴史博物館)	2020-2023	2023年度: 3,380千円 (直接経費: 2,600千円、間接経費: 780千円)	越後縄文人の食性変化と多雪化の関係を明らかにする研究 (古食性分析 / 縄文土器 / 脂質分析 / 年代測定 / 土器付着炭化物)